



## A病院の院内トリアージの質評価と課題

外来副看護師長  
救急看護認定看護師

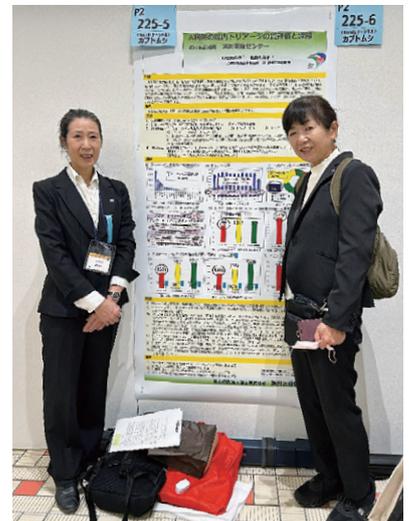
當田 晶子

2025年11月7日、8日に『輪・環、そして和—未来への「わ」の創成』をテーマに第79回国立病院総合医学会が金沢市で開催されました。会場は金沢駅周辺にある石川県立音楽堂・ホテル日航金沢・金沢市アートホールANAクラウンプラザホテル金沢・もてなしドーム 地下広場で、多くの講演や演題発表がありました。私は、「A病院の院内トリアージの質評価と課題」という演題で当院の救急外来の院内トリアージについてポスター発表をしました。

院内トリアージとは、救急外来に独歩で来院した患者さんの症状を医師や看護師が評価し、緊急度に基づいて診察の優先順位を決定する仕組みです。緊急度の高い患者さんの診察を優先して行い、患者さんの状態が悪化する危険を減らすことを目的としています。患者さんの安全を守るには院内トリアージの質の確保が重要です。今回、当院の院内トリアージの現状、つまり院内トリアージの質をガイドラインの指標と比較して評価し、課題をまとめました。

演題に取り組むことで、当院の院内トリアージの現状と課題が明確になりました。当院の院内トリアージの開始時間(患者さんが来院してからトリアージ開始までの時間)と診察応答時間(患者さんが来院してから診察開始までの時間)はガイドラインの指標を満たしていました。アンダートリアージ率(実際より軽症と判定してしまう割合)は全国平均を下回る良い結果でした。一方で、診察応答時間を詳しく調べると緊急度の高い患者さんの診察までの時間効率が悪いことや小児のアンダートリアージが多く、小児トリアージの再学習が必要なが分かりました。ポスターを作成する過程では多くの方々にご指導を頂き、自身の考えを簡明に伝えることや視覚的に分かりやすく表現するにはどうすればいいかを考える機会となりました。

発表当日は、会場で看護部長、副看護部長から声を掛けて頂き大変励みになりました。とても緊張しましたが、セッション終了後には各セッションで1題選出されるベストポスター賞を頂くことができました。指導して下さった方々や救急外来で毎日トリアージを実施している看護師への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。今回の学会発表を通して多くの学びを得ることが出来ました。今後も、救急外来を受診する患者さんの安全を確保できるように院内トリアージの質向上を目指していききたいと思います。



## タスクシフト・シェア報告「心カテ清潔操作補助」の課題と展望

診療放射線技師 田中 亨典

11月に金沢で開催された国立病院総合医学会で、当院で行っている心臓カテーテル検査のタスクシフト・シェアについてポスター発表をしました。現在、国立病院機構内では業務として行っている病院も少なく、目新しい内容ということもあってか座長賞をいただくことができました。このタスクシフト・シェアは、私たち放射線技師だけの力ではなく、当院の循環器内科医師の指導をはじめとし、カテーテル室に携わる全てのスタッフの協力と理解のもと成り立っています。このような機会を得られたことに心より感謝申し上げます。

2日間の学会期間中は自身の発表だけでなく、全国の病院での取り組み、研究発表を聴講することができ、日々の業務に活用できる内容が沢山あり、とても勉強になりました。院内で内容を共有してよりよい医療の提供を継続していきたいです。また、金沢には初めて訪れたのですが、お酒も料理も美味しく、早朝には兼六園を散歩するなどとても有意義な時間でした。機会があれば、全国各地の学会にも積極的に参加してみたいと思います。

